



ウェスタン・ミシガン大学 (WMU)

Western Michigan University

ウェスタン・ミシガン大学ホームページ <https://www.wmich.edu/>
 CELCIS のホームページ <https://www.wmich.edu/celcis>

期間	夏休み期間中の3週間 (8月下旬~9月中旬)
滞在形態	ホームステイ
単位認定	あり (一定期間内に申請が必要。現地での成績評価による)
留学費用	総額 (2019年度参考) 約54万円 <small>*実際の費用は、参加人数・航空費・為替レートなどにより異なります。別途、留学ビザ (査証) 取得費用がかかります。(2019年現在で約360USDドル)</small>
助成金・補助金	大学からの助成金 17万円 (語学成績優秀者*は25万円) 後援会助成金・同窓会補助金 3万円 (語学成績優秀者*は4.5万円) <small>*出発前に定められた語学成績優秀者区分で助成金の支給決定を受けたもの</small>
説明会時期	4月上旬 (申請時期 4月下旬) <small>[参加必須]</small>

★受入機関・都市の概要

ウェスタン・ミシガン大学のある、ミシガン州カラマズーは、シカゴとデトロイトの中間に位置する小さな町です。キャンパスはカラマズー国際空港からほど近く、広大で緑豊かな環境にあります。留学生の受入も盛んで、世界各国から留学生が学んでいます。近代的な図書館は平日でも夜中まで開館しており、食堂、銀行、本屋、郵便局など設備が整っており、日常生活に困らないよう配慮されています。

★留学概要について

ウェスタン・ミシガン大学のCELCIS (The Center for English Language and Culture for International Students) での3週間の英語プログラムです。最初にプレイズメント (クラス分け) テストを受け、各人のレベルに応じたクラスで様々な国からの留学生と共に英語を学びます。放課後には留学生向けのアクティビティなどもあります。ホームステイなので、アメリカならではの生活を体験できるでしょう。週末はホストファミリーと出かけたり、シカゴまで足を運んだり、自由に過ごすことができます。大学や町全体が留学生に優しく、安心して生活できます。

わたしの留学体験記

2019年度
夏季
留学時
2年生

アメリカ

留学先
ウェスタン・ミシガン大学 (WMU)

経済学部

有馬 遥



とある一日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:10 ホストファミリーの家を出発
徒歩とバスで学校へ向かう
- 9:00~9:50 speaking and listening
- 10:00~10:50 grammar and communication
- 11:00~12:50 reading and writing
- 13:00~17:00 バスで移動して友達と一緒に
昼食とショッピング
- 18:30 ホストファミリーと夕食
- 20:00 ホストファミリーとテレビ視聴
- 22:00 就寝



私は、2年生の夏休みにウェスタン・ミシガン大学に3週間留学しました。

まず、私が留学したミシガン州という地域の特徴についてお話しします。8月後半から9月の中旬にかけての気温は、1日の気温差は少しありますが、雨が降ることがほとんどなく、湿度が少ないので、汗をかくことがほとんどありません。そして、ミシガン州といえば、五大湖の1つとして有名なミシガン湖がある場所です。私も訪れましたが、あんなに綺麗な湖を見たのは、初めてでした。湖というよりは、まるで海の様で、透明度は高く、白い鳥が飛んでいて、映画のワンシーンに出てきそうな場所でした。周りを見るとゴミが落ちてくることもなく、見渡す限りどこも素敵で本当に感動しました。

次に、アメリカと日本の文化の違いについてお話しします。想像はしていましたが、食文化はかなり異なりました。基本的にピザやパスタ、ファストフードを食べるだけで、野菜はほとんど取りません。夕食は、日本のように何品も出ず、ピザ1品や、ホットドッグなどでした。食文化以外に、アメリカ人は、かなり気さくだと感じました。バスの中や、お店のレジに並んでる時に、店員さんと知り



合いではないのに、普通に話しかけて、話しているのを見て驚きました。また、私のホストファミリーはキリスト教徒のため、毎週日曜日は、教会に行き、礼拝を行いました。私は、信仰心が薄い方なので、毎週教会に行き、牧師さんの話を聞いたり、みんなで歌ったりすることに、とても驚きました。文化が違うことは分かっていますが、それを理解するのは、とても難しいことだと今回感じました。

最後に、私の1番の経験は、自分の伝えたいことが伝わらないもどかしさというものです。普段、日常的に生活していると、みんなが話す言葉は日本語であり、私が話す言葉も日本語なので、苦労することはありません。ですが、アメリカに行くこと、周りで行き交う言葉はほとんど英語です。留学する前から分かってはいた事ですが、こんなにも苦労するとは考えてもいませんでした。自分が嬉しい時、すごく嬉しいということが、なんて言えばもっと伝わるのか分からなく、全然上手に言えないことが、こんなにも、もどかしいものなのだと、感じました。もちろん翻訳の機械などを使えば、相手に伝えることも出来ますが、自分の言葉から伝えることと、機械を使うことは、全然違うものであると知りました。

この3週間、自分の知らないことをたくさん知ることができました。言葉が通じるといことは本当に尊いことだと感じました。アメリカという国に留学して日本との違いを知り、色々なことに触れることが出来て、本当に良かったです。とてもいい刺激になりました。この経験を活かして、これからの生活を充実させていきたいです。



ダブリン・シティ大学 (DCU)

Dublin City University

アイルランド

ダブリン・シティ大学ホームページ <https://www.dcu.ie/>
 ランゲージサービスのホームページ <https://www.dcu.ie/language-services/index.shtml>

期間	夏休み期間中の3週間 (8月中旬~9月上旬)
滞在形態	ホームステイ
単位認定	あり (一定期間内に申請が必要。現地での成績評価による)
留学費用	総額 (2019年度参考) 約37万円 <small>*実際の費用は、参加人数・航空費・為替レートなどにより異なります。</small>
助成金・補助金	大学からの助成金 17万円 (語学成績優秀者*は25万円) 後援会助成金・同窓会補助金 3万円 (語学成績優秀者*は4.5万円) <small>*出発前に定められた語学成績優秀者区分で助成金の支給決定を受けたもの</small>
説明会時期	4月上旬 (申請時期 4月下旬) <small>[参加必須]</small>

★受入機関・都市の概要

アイルランドの首都ダブリンにあるこの大学は、ダブリン国際空港と市内の中心地のちょうど中間地点に位置しています。図書館やスポーツ複合施設なども充実しています。キャンパスは広大で、留学生の受入も積極的に行っており、国際色豊かな大学です。

★留学概要について

DCUランゲージサービスでの3週間の英語プログラムです。最初にプレイズメント (クラス分け) テストを受け、各人のレベルに応じたクラスで様々な国からの留学生と共に英語を学びます。ショートトリップなどのアクティビティもあります。放課後などの自由時間は、ダブリンの街中でショッピングや食事を楽しんだり、テンプルバー、トリニティカレッジ図書館、ギネスストアハウスなどの有名な観光地や歴史的建造物に足を運んだりすることができます。

わたしの留学体験記

2019年度
夏季
留学時
2年生

アイルランド

留学先
ダブリン・シティ大学 (DCU)

地域政策学部

前田 美羽



とある一日のスケジュール

- 7:30 起床
- 8:00 徒歩で学校へ
- 8:50~12:50 授業
- 13:00 昼食
- 13:30~19:00 ダブリン市街観光
- 20:00 ホームステイ先で夕食
- 21:00 シャワー
- 22:00 宿題
- 23:00 就寝



私は今ある大学生活でしか経験できないことをしようと思いDCUへの留学を決めました。また、大学の講義で多文化共生と外国人について学んでから、日本で外国人を見かけるたびに、外国人から見た日本はどんなものなのか、日本での外国人の立場について考えるようになりました。そこで、まだ海外に行ったことがなかった私は、実際に自分が外国人になるという経験を通して、日本にいる外国人の気持ちを少しでも理解したいという思いもあり、参加を決断しました。英語は得意ではないし、外国にも行ったことがなかった私にとっては大きな決断でしたが、おかげで大きな一歩を踏み出すことができました。

海外に行くことで最初に痛感したのはやはり言葉の壁は大きいということです。ホストマザーが話してくれても私は理解できず、いらいらさせてしまったこともありました。また、理由を説明したくても言葉にできず、悔しい思いをすることも多々ありました。最初は戸惑ってしまっ、きちんと理解していないまま、Yesと言ってしまいがちで、それについても注意されました。わからなかったら聞き直して理解しようとする姿勢が大事だと思った私は、その時からわからなかったら聞き返したり、自分の理解が正しいか確認したりするようになりました。すると、自分の拙い英語でも少しずつ会話ができるようになりました。最後のほうはホストファミリーと会話ができてうれしかったです。ホームステイでは、日本と文化が違って戸惑うことが多くあったので、多文化共生は難しいと実感しました。

英語の授業は日本の英語の先生より話す

スピードが速く、何をやる時間なのかわからないことが多かったです。その結果周りの人よりも劣っている感覚に陥り、自信を無くすこともありました。授業は会話中心だったので、自分の考えを英語で話さなければならず、大変でした。しかし、とにかく間違ってもいいから伝える努力をしたら、最初より伝えたいことが伝わるようになり、伝わったときは喜びに変わりました。また、3週間英語に囲まれて生活をしているうちに、すべては聞き取れなくても、だんだん大事なところだけでも、以前よりは聞き取れるようになったと思います。

放課後はアイルランドの観光名所を巡りました。街並みを見ているだけでも日本と全く違う世界観があって毎日が新鮮で楽しかったです。博物館に行き英語で書いてある展示物の解説を読んでアイルランドの歴史について学んだこと、ツアーに応募して少し早く行ったこと、出会った人たちの触れ合いなど、些細な事もすべて一生の思い出です。アイルランド人はみんな優しくいい人たちがばかりなので素敵な出来事がたくさんありました。苦労したこともたくさんありましたが、英語を学び、異文化に触れ、大好きな観光をし、また、新しい仲間にも出会うことができたので、アイルランドへの短期語学研修に参加して本当によかったと思っています。また、この留学を機にもっといろんなことに挑戦したいとも思いました。もし留学するか迷っている人がいたら、ぜひ参加してみてください!

